

「デッカイ「ときわ大根」
採ったどー!!」

市報 雪とスイカと花笠のまち

おばなざわ



目次

2 … 尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画(中間報告)

4 … 中学校の統合年度を決定 / 5 … トピックス

8 … 尾花沢もっとまるだし未来まつり / 10 … おばなざわ日記

12 … みんなのページ / 14 … お知らせ / 16 … おばなざわ事典

令和4年
11月
No.855

おばなざわ事典

雪降り and 牛尾花沢

尾花沢市の肉用牛の肥育頭数は令和4年3月31日時点で8千69頭と、東北有数の和牛産地です。尾花沢牛の歴史は明治時代にまでさかのぼり、厳しい気候環境での飼育管理について長年研究され、受け継がれてきました。

尾花沢は夏は40度近く、冬はマイナス10度以下にもなる寒暖差の大きい気候です。尾花沢牛は畜産農家のたゆまぬ努力の中、この厳しい環境で過ごすため、体を守るうと自然に上質な脂(サシ)を身につけます。



「宝栄牧場」にいるのはどんな牛?

標高420m~620mにある宝栄牧場。5月~10月の期間、受胎確認された繁殖牛を放牧しています。夏でも平均気温が約16度の、牛にとって過ごしやすい環境で元気な子牛を産むために備えています。



モ〜

「尾花沢牛」と「雪降り and 牛尾花沢」の違いは?

尾花沢で最も長く飼育された黒毛和牛で、格付けが3等級以上のメス牛・去勢牛を「尾花沢牛」と呼ぶことができます。この中でも、さらに下記③・④の全国的にも厳しい条件をクリアした牛が「雪降り and 牛尾花沢」として高級ブランドになっています。

【「雪降り and 牛尾花沢」の条件】

- ① 尾花沢で最も長く飼育された黒毛和牛
- ② 格付けが3等級以上
- ③ 子牛を産んでいないメス牛
- ④ 月齢が32カ月以上



このラベルが目印!

市の人口と世帯

	11月1日 現在	前月比
男	7,144人	(-22)
女	7,365人	(-15)
計	14,509人	(-37)
世帯数	5,266戸	(-14)

先月中の動き (届出件数)	
出生 ……	4人
死亡 ……	25人
転入 ……	9人
転出 ……	25人
婚姻 ……	3組

表紙

デッカイ「ときわ大根」採ったどー!!

常盤小学校3~6年生は、大根の栽培から収穫、販売までの一貫した取り組みを、地元の方々の協力を得ながら行っています。10月8日朝、この日サルナートで開催される「尾花沢もっとまるだし未来まつり」で販売する大根の収穫作業を体験しました。児童のひざ上まで伸びた大根の葉っぱをグイッと引き抜くと、真っ白で丸々と太った大根が出た! 30分ほどで畑は白い大根でいっぱい。6年生がデザインしたおそろいの「ときわ大根」Tシャツを着て、率先して作業する児童たちの姿は、「一人前」の風格さえ感じられるのでした。
(10月8日 鶴子地内にて)

※行事は、新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら行っています。

再生紙を使用しています。

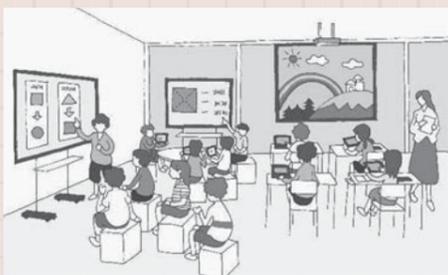
新しい小中学校の施設整備の方向性

小中学校建設検討委員会では、小中学校建設の基本構想において「学ぶ力 豊かな心 健やかな身体を育む学校」を創造する～を基本コンセプトとして決めました。これに沿って、下記に示す文部科学省の施設整備の方針を踏まえ、尾花沢市の特性を活かした学校施設整備について協議を進めていきます。

※イラスト引用：文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」

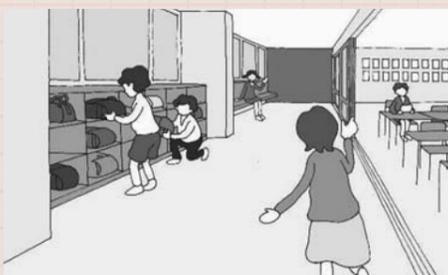
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた、柔軟で創造的な学習空間の実現

▶1人1台端末を文房具として活用し、多様な学びを可能にします。



◀教室と隣接する多目的スペースとの連続性・一体性を持たせた空間をつくりまします。

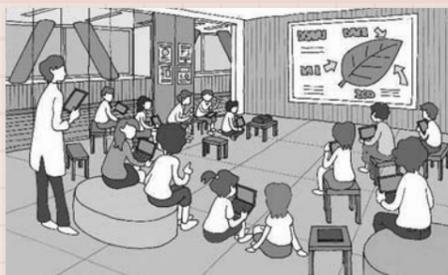
▶ロッカー等の移動可能な家具を教室外に配置し、教室空間を有効活用します。



◀図書室とPC室を組み合わせ、読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていきます。

新しい生活様式を踏まえた、健やかな生活空間の実現

▶インクルーシブ教育（障がいの有無に関わらず子供たちが一緒に学ぶ）に配慮し、子供たちの居場所となる小空間等の配置や木材を使用し、温かみのある空間としていきます。



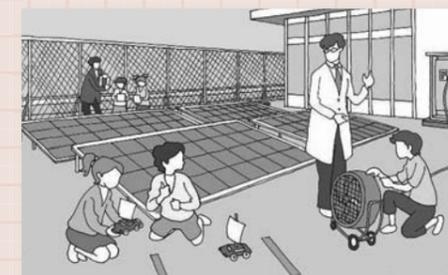
◀壁面の工夫や椅子、ベンチ、畳、カーペットなどの家具を配置し、子供たちの自主的・自発的な学びや交流を生み出します。

安全・安心な教育環境の実現

▶地域の避難所としての防災機能の強化と居住性の向上を図ります。



脱炭素社会の実現に貢献



◀省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入を進め、環境教育での活用を図ります。

建設検討委員会で話し合われた

『小中学校建設基本構想』について報告します

市教育委員会では令和4年2月に決定された「尾花沢市小中学校のあり方に関する基本方針」の今後の推進計画に基づき、保護者、自治組織、教職員の代表並びに学識経験者による「尾花沢市小中学校建設検討委員会」を立ち上げ、『尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画』の策定について検討を重ねてきました。

この検討委員会では、出生数の推移や学校の抱える課題、小・中学校建設に向けた保護者アンケート、さらには市民ワークショップでの意見等を参考に、今後の学校施設整備の方向性や建設場所について協議を進めてきたところです。

このたび、検討委員会で協議された、市が目指す学校のコンセプトや学校施設整備の方向性、また学校の建設場所を含む基本構想がまとまり、教育委員会に中間報告がありましたので、その内容をお知らせします。

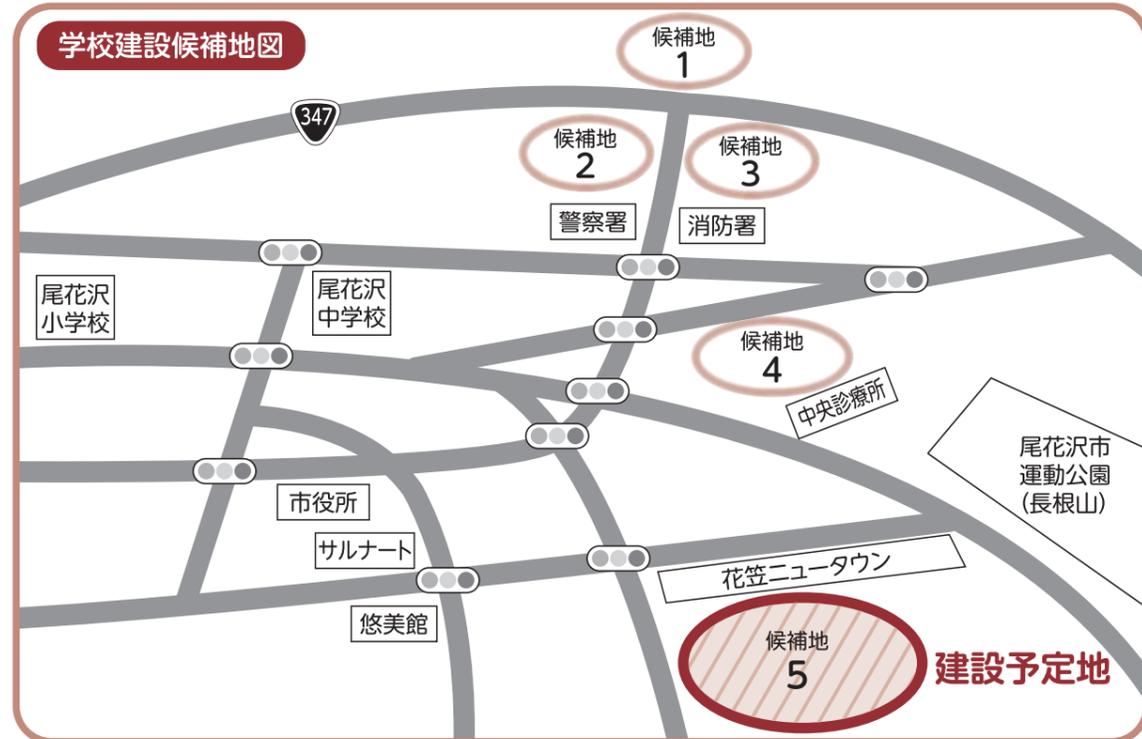
小中学校の建設予定地が決まりました

市では令和2年度に小中学校の建設場所の候補地として、市街地で小中学校が併設できる面積が確保できる5か所を抽出し、令和3年度には候補地ごとの周辺環境等の調査を実施しました。

教育委員会では令和4年5月に「尾花沢市小中学校建設検討委員会」を設置し、候補地ごとの調査結果を踏まえ、自然災害に対して安全が確保できる校地環境や、徒歩やスクールバスにおける通学環境、都市計画マスタープランに基づくまちづくりという、3つの視点で比較検討を行いました。その結果、最適な場所として「候補地5（大字尾花沢字中新田地内）」が選定され、この内容について教育委員会に提言がなされました。

この提言を受け、教育委員会および10月27日に開催した総合教育会議（市長が招集する会議）で協議した結果、提言内容どおり「候補地5」を小中学校の建設予定地に決定しました。

※「候補地5」の場所は下記図面に示した場所のとおり。（花笠ニュータウン南側付近）



◆こども教育課 ☎(22)1111【内線 331】 ※市公式ホームページに詳しい内容を掲載しています。

トピックス
TOPICS 1
尾花沢市
総合防災訓練

10月23日、市役所と芦沢地区を会場に、「第18回尾花沢市総合防災訓練」を開催。行政・住民それぞれが、いざという時の災害対応の方法・手順などを確かめました。

非常時に迅速で的確な災害対応ができるよう、日頃から備えるため、市では隔年で、総合防災訓練を行っています。今年、10月23日に市役所と芦沢地区を会場に、緊急情報伝達訓練や住民安否確認訓練、避難所の開設・運営訓練を行いました。芦沢地区では、自主防災会が中心となり、全戸に配付した黄色いタオルを使った住民安否確認訓練を実施。午前9時に市内一斉に配信された防災行政無線やエリアメール等を訓練開始の合図に、各戸では無事を意味する黄色いタオルを道路から見やすい場所に掲示。地区役員が3班体制で地区内を見回り、掲示された黄色いタオルを目視で確認し、住民の安否状況を把握しました。また市役所では、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた避難所の開設・運営訓練を実施。避難所担当の市職員や防災士会員など20人が市役所に参集し、段ボールベッドの組み立てやプライバシー確保に配慮したパーティションの設置訓練を行いました。その後、鈴木一雄県防災士会副会長による講演も行われ、避難所運営での注意点や災害時に自分の身を守る方法を教えていただきました。



▲県防災士会による講演。避難所では、避難者のケースバイケースに応じた対応ができるような備えが大切とのこと。



▲避難所での段ボールベッド組み立て作業を実施。2人1組で5分程度で組み立てることができ



▲芦沢地区(88世帯)では、地区民の参加により、黄色いタオルを家の前に掲げて自分の家の無事を知らせる訓練を実施。



▲芦沢地区での住民安否確認訓練。本部を設置した芦沢公民館では、巡回に出向いた役員からの報告を受ける手順なども確認。

トピックス
TOPICS 2
消防本部・警察署
合同水難救助訓練

10月4日、徳良湖にて、尾花沢市消防本部と尾花沢警察署職員約30人が、合同で水難救助訓練を行いました。



▲陸上での救助用のロープや救命浮環の投入訓練。遠くの要救助者(溺れた人)の元にも届くように投げ方を確認しました。



▲要救助者(溺れた人)に声をかけながら、救助艇に引き上げる訓練を行う消防署員たち。

近年、全国的に豪雨災害が頻発しており、市でも毎年のように水害による被害が発生しています。市消防本部では、水害発生時に備え、毎年水難救助訓練を実施してきましたが、さらに備えと対応力を強化するため、今回初めて尾花沢警察署との合同水難救助訓練を行いました。訓練では、救助艇などの取り扱いや、要救助者の救助訓練を実施。徳良湖で溺れている要救助者役の消防署員を、救助艇で助けに向かった署員が救命浮環(浮き輪)を投げ入れ、水から引き上げる救助方法を実践しました。人々の安全安心や命を守る組織同士、水害に備えた情報の共有を図り、いざという時のスムーズな連携体制を確認し合いました。

中学校の統合年度を決定しました

昨年度、各地区の検討委員会で小中学校のあり方を検討いただき、その報告を受け、今年2月に「尾花沢市小中学校のあり方に関する基本方針」を決定しました。

その中で、中学校の統合については、市が基本方針(案)で示した令和5年度に対し、福原地区より令和9年度を求める報告を受けたところです。この意向を踏まえつつも、地域の動向や教育環境の変化を考慮して見極め、総合教育会議で判断していくこととしていました。

今回、10月27日に開催した総合教育会議において、中学校の統合年度を下記のとおり決定しましたので、報告します。

1. 中学校の統合年度について

令和8年度に福原中学校を尾花沢中学校に統合します。

2. 「令和8年度に統合」を決定した理由

- ①福原中の生徒数が、令和7年度までは50人台で推移するが、令和8年度には50人を下回る見通しであること。
- ②本市の中学生が、全教科への専門教諭が配置された環境での学習や、部活動の環境充実により自分に合った部活動を選択できる等、充実した教育環境で学ぶことができること。
- ③部活動の地域移行が進められる中、統合により指導者の確保や練習環境など、本市の中学生が統一した対応による活動ができること。また、各部の部員数が増えることで部活動運営にかかる保護者負担が軽減されること。
- ④統合に向けた準備期間がほしいとの声に対し、令和5年度に両校で統合に向けた活動計画を作り、令和6～7年度の2ヶ年の統合準備期間で十分な交流を図り、統合への準備ができること。
- ⑤福原中の制服を、令和6年度新入生から段階的に尾花沢中の制服に切り替えることにより、統一した制服での統合ができること。
- ⑥中学校の統合を、小学校の統合年度より1年早めることで、保護者の負担や閉校等に関わる地域の方々の負担を軽減できること。また、しっかりした取り組みにより学校を閉じることができること。
- ⑦福原地区の保護者アンケートでは、単年度で見ると令和9年度統合を希望する声が多かったものの、この年度よりも早い段階での統合を望む声も多く、そうした声も考慮したこと。

3. 中学校の統合に向けた推進計画

年度	統合に向けての準備	内容
令和4年度	統合年度を総合教育会議で決定	・福中、尾中において、統合年度を見通した令和5年度教育計画を策定
令和5年度	統合準備委員会立ち上げ・開催	・福中・尾中で統合に向けた活動計画作成 ・中学校での修学旅行等行事の調整 ・市内全小学校で、統合に向けた交流を実施
令和6年度	統合準備委員会開催 ・学校連携部会 ・PTA連携部会 ・地域連携部会	・統合準備委員会(年間3回程度開催) ・福原中閉校関係協議会 ・中学校統合に向けた交流活動の実施 ・制服の切替
令和7年度	↓	・統合準備委員会(年間3回程度開催) ・福原中閉校関係協議会 ・中学校統合に向けた交流活動の実施
令和8年度	統 合	尾花沢中の現校舎を使用して統合

以上の推進計画のもと、スムーズな統合に向けて準備を進めてまいります。

◆こども教育課 ☎(22)1111【内線331】 ※市公式ホームページに詳しい内容を掲載しています。



▲「肉牛の部」セリ会場の知覧体育館で出品された和牛の評価を見守る参加者たち。



▲霧島市の会場に設けられた山形県PRブースで、尾花沢牛の説明をする結城市長。

全国の優秀な和牛を一堂に集め、改良の成果を競う場として5年に1回開催されている「全国和牛能力共進会」。牛の姿・形を審査する「種牛の部」と、肥育牛の肉質等を審査する「肉牛の部」で競われます。「和牛オリンピック」とも呼ばれるこの大会が鹿児島県で行われ、山形県からは、「肉牛の部」の代表として尾花沢市内の畜産農家が肥育する黒毛和牛3頭が出品されました。会場となった南九州市の知覧体育館では、結城市長や畜産関係者の方々が見守る中、全国から出品された16頭の審査が行われ、尾花沢牛は1等賞の評価を受けました。

また、霧島市の「種牛の部」会場では、都道府県PRブースが設けられており、山形県のPRブースで結城市長がトップセールスを行いました。大勢の来場者に尾花沢牛のおいしさやその秘訣などをPRし、日本各地の方々に尾花沢牛が誇る肉牛を知ってもらう機会となりました。

トピックス
TOPICS 5
全国和牛能力共進会
鹿児島大会

トピックス
TOPICS 3
ミニ健康フェスタ
in上柳2022



▲紅葉が始まったブナ林でウォーキングを楽しむ参加者たち。樹々の間から差し込む陽光の光が幻想的。



▲ヘルスアップ☆クイズラリーの様子。施設内を歩きながら、頭の体操にも挑戦！

寺町ブナ共生の森を歩く「ブナ林ウォーキング」には、市内から19人が参加。ブナ源水」をスタートし、途中ブナ観音で休憩して、尾花沢サーキット場までのコースを歩きました。

参加者は、ブナの里寺町振興会代表の高橋進一さんより森の歴史や観光スポットの説明を受けながら、黄色に色づき始めたブナ林の中を森林浴を楽しみながら歩き、山頂のサーキット場に到着。参加者は秋晴れの下、市街地や二ツ森の景色を眺めて達成感に浸っていました。

また、上柳健康増進施設では、「ヘルスアップ☆クイズラリー」が行われました。施設内の様々な場所に掲示されている健康に関するクイズを探し、回答紙に答えを書き込んでいきます。意外と知らない用語や知識もあり、参加者同士で相談しながら答えを決めるなど、楽しみながら健康について学んでいました。

2050尾花沢市ゼロカーボンシティへの
チャレンジ シリーズ③



自動車です省エネ「エコドライブ」

山形県の1世帯あたりの自動車保有台数は、令和4年3月で1,642台、全国第3位です(全国平均1,032)。ゼロカーボンの取り組みとして、「エコドライブ」にも挑戦してみましょう。「エコドライブ」は、自動車からのCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につながる運転技術や心がけのことです。「エコドライブ」によって交通事故を防ぐ安全運転にもつながります。

山形県地球温暖化防止活動推進センターでは、エコドライブ講習会に参加してアンケートに回答した方に、抽選で素敵な商品が当たるエコドライブアクション(令和5年1月31日まで)を行っています。ぜひチャレンジを!



▲エコドライブアクションの詳細はこちらから。

1. 自分の燃費を把握しよう
2. ふんわりアクセル「eスタート」
3. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転
4. 減速時は早めにアクセルを離そう
5. エアコンの使用は適切に
6. 無駄なアイドリングはやめよう
7. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
8. タイヤの空気圧から始める点検・整備
9. 不要な荷物をおろそう
10. 走行の妨げとなる駐車はやめよう
11. 近距離は、徒歩や自転車で

身近なところから、
できることから、
はじめてみよう。

「エコドライブ」を実践してみよう!
2,000cc/年間10,000km走行の場合
CO₂約194.0kgの削減が期待!
(年間約**11,950円**のガソリン代節約)

◆環境エネルギー課 生活環境エネルギー係 ☎(22)1112

トピックス
TOPICS 4
食欲の秋!
そばまつり

市役所西側駐車場を会場に、10月1日と10月16日、そばまつりが開催されました。

参加者を県内・宮城県在住の方に限り、入場も時間制を導入するなど、新型コロナ対策を講じての開催となりましたが、両日とも大勢のそば好きたちが集まり、地元のそばを味わっていました。

10/16 おくのほそ道尾花沢そば街道
第24回新そばまつり

尾花沢で収穫された原種「最上早生」の新そばを堪能。会場には市内小学生による尾花沢そばの自由研究や、参加者がそばを食べながら会場で詠んだ俳句なども展示されました。



10/1 尾花沢・大石田・村山
おくのほそ道最上川三そば街道
そばの里まつり

尾花沢、大石田、村山それぞれの特徴が楽しめる、3種類のそば盛り合わせが提供。食べ比べをして味わいました。



尾花沢もっとうまると未来まつり

大食い選手権決勝

ジョイマンも参戦!

予選を勝ち抜いた市内の大食い男子5人がジョイマン池谷さんと一緒に3.5kgの「もっとうまると」に挑戦!



どのお店にも長い行列ができて大盛況!



常盤小3~6年生が育てた朝採り大根を販売



尾花沢中学校3年生の募金活動

学校の活動も行われていました

ガラガラ抽選会

サプライズでジョイマン登場!

大当たり出るかな〜



オープニング



常盤小学校チーム霧山太鼓



寺内野尻太鼓



おもだか保育園



尾花沢幼稚園



ひまわり保育園

ステージでは踊りや演奏も!



尾花沢中学校吹奏楽部



フラホニケアロハフラダンス



尾花沢まつりばやし保存会



悠美会



イブニングバンド

会場が笑いに囲まれたジョイマンお笑いステージ

ジョイマンのステージを見ようと集まった観客で会場は大にぎわい。ジョイマンのネタと一緒にやって楽しみました。



高木さん

池谷さん

働く車コーナー



製造業や修繕工事、建築、食べ物作り、アナウンサー、空港、銀行、新聞業などなど... 20種類以上の職業体験に大勢のキッズたちが参加。普段できない大人のお仕事体験を楽しみました。



大人気!! 職業体験

Diary
10/1

尾花沢地区公民館「サンドブラスト体験教室」
砂で描くガラスアート
で思い出づくり



市内の親子16人が参加し、たなか工房で「サンドブラスト体験教室」が行われました。参加者は、自分で選んだガラスや陶器の器に様々な模様のシールを貼り付け、容器に砂を吹き付けます。シールをはがすと模様が浮かび上がり、オリジナルのガラスアートが完成。親子の思い出づくりができました。

Diary
10/17

明治安田生命保険山形支社
「私の地元応援募金」寄附



▲寄附金の目録を結城市長に手渡し、中村裕之
明治安田生命山形支社市場統括部長(写真右側)。

明治安田生命が、健康づくり等に役立ててほしいと、市に202,500円を寄附されました。これは、豊かな地域づくりを応援する「地元の元気プロジェクト」の一環で、本市にゆかりのある社員からの募金と、会社拠出を合わせて贈呈されたものです。市の健康増進事業などに活用させていただきます。



Diary
10/9

西原かかしの郷「ありがとうかかし君感謝祭」
108体のかかしと
一緒に楽しむ地区民交流

夏の間、西原地区内で見守りやにぎわいづくりに一役買ってくれた108体のかかしたちが、西原公民館脇の芝生に大集合。地区民たちはかかしが立ち並ぶ中、輪投げ大会やグラウンド・ゴルフ大会、元地域おこし協力隊による星空コンサートの鑑賞などをして、笑い声が絶えない一日を過ごしました。



Diary
10/22

ニツ森男山紅葉トレッキング
秋晴れの山頂で望む
大パノラマに気分爽快!

ニツ森の男山(742.4m)登山が行われ、参加者やスタッフ合わせて約30人が山頂を目指しました。女山と比べ、急で険しい登山道をロープをつかみながら登り、山頂に到着。そこには尾花沢の街並みや遠くの山々を望む360度の大パノラマが広がっていました。秋晴れの空の下、爽やかな気分を味わいました。

おばなざわ 日記 Diary

Obanazawa

※撮影のため一時的にマスクを外している写真があります。
※イベント等は新型コロナ感染防止対策をとった上でを行っています。

Diary
10/6

常盤小学校 収穫祭給食
みんなで育てた「ときわ大根」
おいしいね



常盤小3～6年生は総合的な学習の時間に大根栽培に取り組んできました。今回、自分たちで収穫した「ときわ大根」のみそ汁が給食に登場。心を込めて育てた大根の美味しさを、児童みんなで夢中になって味わいました。



Diary
10/18

福原小学校「シイタケ収穫体験」
たくさん採れたよ!
大きく育った原木シイタケ

福原小2・3年生が原木シイタケを収穫しました。名木沢生産森林組合の國分さんと石川さんからキノコの採り方などを教えてもらい、収穫に挑戦。児童の顔ほどに成長したものもあり、児童たちは大収穫に大満足でした。

Diary
10/18

玉野小学校「大茶会」
お茶の心をお点前に込めて
全校生徒をおもてなし



玉野小5・6年生が、伊藤瓢堂さんの指導で茶道を勉強しました。自分で作った上の畑焼の抹茶碗を使い、お茶の点て方などを体験。その後、習ったお点前を1～4年生に披露し、お茶とお菓子でおもてなししました。



Diary
10/19

市内小中学校で地産地消給食
尾花沢のお米とお肉を
牛丼で味わって

小中学生に市の特産品を味わってもらおうと、「雪さらり」と「雪降り和牛尾花沢」を使用した給食が提供されました。宮沢小の児童たちは、ご飯の上に牛丼の具をのせて口いっぱい頬張り、あっという間に完食しました。

載せきれなかった話題は「尾花沢市公式ホームページ」に掲載中。

トップページ → くらし 市の情報 → ニュース特急便(※写真をクリック)

URLは<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp>



ACCESS My Class

アクセス マイクラス

福原小学校
6年生(20人)



※撮影のため、一時的にマスクを外しています。

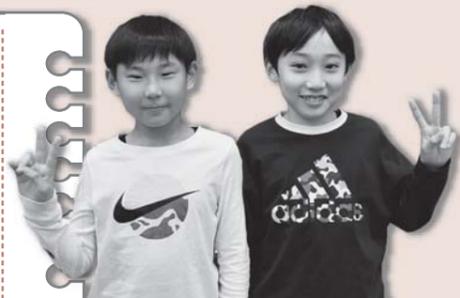
先生からのひとこと

青柳 道彦 先生
とても素直で、いつも明るい笑い声が学級に響き渡る20人の子どもたち。持ち前の明るさと前向きな姿勢で様々な行事をリードしてくれました。卒業まであと4カ月。一人一人の良さや成長を認め合いながら、最高の思い出を作ってくださいませ。

ぼくたちのクラスは、仲間を思い合える楽しいクラスです。今ぼくたちは、自分たちで考えて行動できる学級を目指しています。授業では、できない問題があると、理解できるまでみんなで深く考えることを大事にしています。さらに、福原小学校では「ABC運動」に学校全体で一生懸命取り組んでいます。最高学年として、下級生の手本になるように本気で取り組んでいきたいです。

特にぼくたちが力を入れている学習は「ふるさと学習」です。ぼくたちはこの尾花沢が大好きです。尾花沢をPRするため、尾花沢先生にお話を聞くなどして、ビデオやパンフレットにまとめていきます。多くの人に尾花沢の魅力を感じてもらえるようにがんばります。

卒業まで、あと85日。一つひとつのことに全力で取り組んでいきます。残り少ない小学校生活ですが、20人全員で最高の思い出を作ってくださいませ。



福原小学校6年
渡辺 翔斗さん(西原2)
東海林彩人さん(芦沢駅前)

10月に入り行動制限も緩和され、本市においても少しずつですが様々な催し物が開催されにぎわいが戻りつつあります。10月8日、9日には、「尾花沢もつとまるだし未来まつり」が4年ぶりに開催されました。秋晴れのもと、会場では職業体験や大食い選手権などの新たな催しにたくさんの方が集まり、これまでの自粛生活のうっぶんを晴らすかのような活気を感じることができました。また、16日には『新そばまつり』が開催され、原種「最上早生」700人が提供されました。その他、地域共生社会を象徴するような西原地区の「ありがとう！かし君感謝祭」など、尾花沢市が他地域に誇れるもの、自慢できる資源を活かせるよう、市長として力を入れていきたいと改めて感じた一カ月となりました。

さて、子育て世代の方々に特に知ってほしい小中学校の統合について触れさせていただきます。10月27日に尾花沢市総合教育会議が開催されました。この会議は、市長と教育委員会が構成されており、教育に関する「大綱」の策定に関する協議や、教育の条件整備などについて協議するものです。今回の会議では令和9年度の開校を目指す統合小学校の建設場所が花笠ニュータウン南側付近に決定されました。建設場所については様々なご意見もあると思いますが、子どもたちにとっての最高の教育環境というところが一番大切だと考えています。また、中学校の統合については、福原地区の意向を尊重し、市の方針を5年度から8年度へと見直しさせていただいております。前市長から引き継いだ事業についても一歩一歩確実に前に進めることができて大変うれしく思っています。

寒さが厳しい季節となりましたが、くれぐれもご自愛ください。

尾花沢市長 結城 裕



市長コラム



地域おこし協力隊 奮闘記



▲収穫風景。刈取りしたそばの種を袋に詰めています。



▲宝栄牧場そば畑の様子。約1.5haのそば畑一面が真っ白になる光景は圧巻です。

お久しぶりです！地域おこし協力隊の会田朋史です！尾花沢市に移り住んで早半年が経ち、様々な方と出会い、体験し、尾花沢暮らしにも慣れてきました。「前回の奮闘記みたよ〜！」とか「TVで映っていたのみたよ〜！」とか声をかけてくださることが多く、見守っていただいていることを実感しています。

さて、私は農林課で尾花沢そばの源流である原種「最上早生」の保存に携わっています。そば生産者、販売者、関係機関が一体となって、他種との交雑を防ぐために宝栄牧場でそば栽培を行っており、私は草刈りに始まり、土づくり、種まき、ほ場管理、収穫、乾燥調整まで携わってきました。農業にはまったく無縁だった私にとって一連の作業はとても大変で、自然を相手にする難しさを痛感しています。一方で、手間暇かけてくださったそばには感動しました。このような作業を、経営面も考慮しながら大面積をこなす農家さんを本当に尊敬しています。

今後はそば打ちの技術を学んでいく予定ですが、原点であるそばの原料ももっと学んでいきたいと思っています。目標に向けて、急がず焦らず一歩ずつ前進です！

そばマスターへの道「エピソード」



あいたともみみ 会田朋史隊員

食育レシピ

～食生活改善推進員さん おすすめレシピ～

第11弾 【みそ豆(油みそ)】

◆ 材料 ◆

- 大豆……………130g (カップ1)
- みそ……………大さじ3
- さとう……………大さじ5
- 酒……………大さじ1

◆ 作り方 ◆

- ①大豆はよく洗って水気をきり、フライパンで炒る。
- ②①に調味料を加え、大豆にからめてできあがり。

◆ 一口メモ ◆

- 大豆をカリカリに炒ると香ばしく仕上がります。この硬さが丈夫な歯をつくるため、お子さんに積極的に食べてほしい料理のひとつです。
- 白いりごま、かつおぶし、青じそなどをお好みで加えてもおいしいです。

昔は「油みそ」とも呼ばれ、あたたかいごはんにかけて食べるとカリカリとした歯ごたえがあり、おかずがなくとも食がすすんだそう。また、数日は味が変わらない油みそは忙しい時期に重宝したそうです。

参考文献:「大豆のチカラ 若い人たちに伝えたい大豆の食べ方」山形県トータルライフ研究会

尾花沢市食生活改善推進協議会

甘じょっぱさとちょっと固めの大豆の食感があと引くおいしい。



流雪溝の使用ルールを守りましょう!

流雪溝にゴミを捨てると水が上がりの原因になります。冬を快適に過ごすため、流雪溝の使用ルールを守りましょう。

- ①中網を開けて投雪しない。
- ②機械で直接投雪しない。
- ③勝手な分水操作はしない。
- ④流雪溝にゴミを捨てない。
- ⑤水上がりの時、水が少ない時は投雪しない。



※流雪溝には絶対にゴミを捨てないでください。

建設課 維持管理係 ☎(22)11114

除雪費用の一部助成

居住している自宅の除雪を自力で行うことが難しく、親族や他者から除雪の支援を受けられない世帯

帯に対し、除雪費用の一部を助成し、冬の安心安全な市民生活を応援します。

■対象者

- ①65歳以上の高齢者のみの世帯
- ②高齢者に加え重度心身障害者がいる世帯
- ③重度心身障害者のみの世帯

※①③のいずれかに該当し、世帯全員の市民税が非課税、または均等割のみの世帯に限りです。

■助成額

上限4万円(千円券を40枚)

■申請方法

お住まいの地区担当民生委員へご相談ください。

☎福祉課 社会福祉係【内線175】

確定申告等で障害者控除を受ける要介護認定者の方へ

身体障害者手帳をお持ちでない方でも、介護認定を受けている方は確定申告等の際、障害者控除を受けることができます。「障害者控除対象者認定書」が必要ですので、交付を希望される方は、福祉課窓口で申請してください。

■対象者/令和4年12月31日における年齢が満65歳以上で、かつ介護保険の要介護1～5の認定を受けている方

消防本部 予防保安係 ☎(22)11131

令和4年度山形地区小学生人権書道コンテスト作品展

人権書道コンテストの作品を展示します。

■場所/悠美館 展示ホール

■期間/12月1日(木)～11日(日) 午前9時～午後7時

※日曜は、午前9時～午後5時

☎山形人権擁護委員協議会 (山形地方法務局人権擁護課内) ☎023(625)1321

人権なんでも相談

どんなことでも人権擁護委員が秘密厳守で相談をお受けします。

■相談内容/夫婦間や家族内問題、高齢者や障がい者の虐待、いじめや体罰、隣人トラブル、その他困っていること。

■日時/12月1日(木) 午前10時～午後3時

■場所/東光館 ☎山形地方法務局人権擁護課 ☎023(625)1321

■持ち物/申請者の顔写真付き本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証等)

※詳細は市HPに掲載しています。

☎福祉課 介護福祉係【内線162】 <http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/fukushi-kaigo/kaigohoken-seido/709>



福原地区・玉野地区ふれあい作品展開催

地区の皆さんの作品を地区公民館に展示します。また「お楽しみ抽選会」を毎日行いますので、皆さんぜひお越しください。

市内5地区作品展のスタンプラリーも同時開催中です。

■福原地区公民館 日時/11月30日(水)～12月4日(日) 午前9時～午後5時

※最終日は午後3時で終了

☎福原地区公民館 ☎(25)27998

■玉野地区公民館 日時/12月3日(土)～6日(火) 午前9時～午後5時

☎玉野地区公民館

☎(28)2111 「ふれあい作品展スタンプラリー」に参加しよう!

各地区の作品展を鑑賞しながら、スタンプを集めて応募しよう!

■参加方法

- ①各地区の作品展、または芭蕉、清風歴史資料館でスタンプをゲット。
- ※スタンプ台紙は、各地区公民館・資料館に用意しています。
- ②スタンプを集めたら、氏名・電話番号・住所を明記の上、各地区公民館にご持参ください。
- ③抽選で景品が当たる!

3月3日(金)に抽選会を行います。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

■応募締切日/2月27日(月)

■当選景品

- ①スタンプ3つ以上:オリジナルエコバッグ(100名)
- ②スタンプ5つ以上:尾花沢の特産品詰め合わせ(25名)

※詳しくは各地区公民館にお問い合わせください。



やまがたハッピーサポートセンターからのお知らせ

11月22日(火)より、1対1の出会い支援の新マッチングシステム「Ai(あい)ナビやまがた」の新規登録を開始します。登録からお相手探しまで、オンラインで行うことができます。

11月22日～12月31日は登録料半額キャンペーン期間につき、登録料が半額の5千円になります!!

詳しくはQRコードからホームページをご覧ください。左記までお問合せください。

☎やまがたハッピーサポートセンター ☎023(68)1972 <https://www.dsc-yamagata.jp>



市議会 12月定例会開催のお知らせ

- 12月定例会日程(予定)
- 11月30日(水)10時～ 本議会
 - 12月1日(木)10時～ 総務文教常任委員会
 - 2日(金)10時～ 産業厚生常任委員会
 - 5日(月)10時～ 一般質問
 - 6日(火)10時～ 一般質問・議会運営委員会
 - 8日(木)10時～ 本会議

■傍聴を希望される方へ/当日受付して傍聴できます。なお、各委員会の傍聴をご希望の方は、事前にお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議場での傍聴は極力ご遠慮いただき、尾花沢市公式ホームページ「インターネット議会中継」をご利用ください。「インターネット議会中継」を選択すると「生中継」「録画映像」をご覧ください。(http://www.kensakusystem.jp/obanazawa-vod/)



▲議会中継はこちらから。

■一般質問項目チラシ配布場所/ 市役所1階市民サロン・各地区公民館・悠美館 ☎(22)3755 ☎議会事務局